



日立社友クラブ 茨城支部

茨城支部 便り
第 57 号
2016年10月20日
編集兼発行人
長島 重和

HITACHI HITACHI HITACHI HITACHI HITACHI HITACHI HITACHI HITACHI HITACHI HITACHI HITACHI HITACHI HITACHI HITACHI HITACHI HITACHI

「ロシアカツバメの給餌」



撮影者：浅川 茂
撮影日：平成 28 年 8 月 14 日
カメラ：NikonD7100 絞り：f 5.6
シャッター速度：1/3200 焦点距離：400mm
場所：日立市の自宅ベランダ
撮影余話：昼食後居間でぼんやりテレビを観ていた時、賑やかな小鳥の鳴き声だったので急いで二階のベランダから探すと、道路脇の電線に餌を運ぶ親鳥を待つ「ロシアカツバメ」の雛がいた。急いで撮影準備をして待ち構えると間もなく、親鳥が餌を運んできた。親鳥は飛びながらの空中給餌でした。逆光で表情がはっきりしなかったため、画像処理でシャドウを明るくした。

リレー随筆 (57)

春山登山の思い出

遠藤 宗宏



私が入社した 1960 年代は高度成長が始まった時代で、登山の休暇はGWとお盆しかありませんでした。GWは春山シーズンで、それまで未経験でしたが友人達と勇躍挑むことにしました。これは3回の春山登山の思い出です。

最初は八ヶ岳縦走と主峰赤岳(2888m)登頂に挑み、晴天に恵まれ山麓の稲子湯から2泊3日の行程でしたが、稜線の残雪も少なく赤岳登攀も果たし、清里へ下山した快適な登山でした。

これに気を良くし、今回は剣岳(2999m)を目指して雪原の弥陀ヶ原～室堂～雷鳥沢経由で剣午前小屋に入りましたが、あいにくの悪天候で3日間を小屋に停滞し、毎日3食を持参のラーメンで過ごしました。この時、従来のラジュウスに代わりガスボンベのバーナーが非常に手軽だった事を今も記憶しています。天候は回復せず、剣岳の片鱗を望むことも叶わぬまま、濃霧の中を無念な思いで雷鳥沢を下山いたしました。

捲土重来を期して翌年は後立山連峰の五竜岳(2814m)を目指し八方尾根を唐松岳(2696m)まで登って、唐松小屋から尾根伝いに黒部五竜岳登頂を計画しましたが、入山時からの曇天が夜半から無人小屋を揺るがす猛烈な吹雪となり、2日間小屋から出ることもならず閉じ籠っていました。翌日は絶好の好天になりましたが、休暇を延長することも叶わず、膝まで降り積もった雪の尾根を交代でラッセルしながら下山しました。途中、五竜岳から延びる遠見尾根で轟音と共に巨大な雪崩を垣間見、春山登山の恐ろしさを実感しました。以降春山を試みる機会はありませんでした。

その後、剣岳や五竜岳を夏期に踏破しましたが、何れも厳しい登山で、未熟な私達が天候不順なGWの春山に挑戦しても無事では済まされなかったろうと痛感致しました。

下の写真は昨年、白馬山麓から撮ったもので、50年前に挑んだ五竜岳・唐松岳と八方尾根の全容を遠望し、感慨深い思いでした。

雪山は魔力も秘めた魅力を湛えていますが、喜寿を無事迎えた今でも眺めることが出来るのも、若気の至りで無謀な登山計画を悪天候で断念させてくれた神の慈悲だったのでと、思いいたしている次第です。



2015年3月26日 白馬山麓(小川村)から撮影した後立山連峰
(左のピークが五竜岳、中央のピークが唐松岳、唐松岳から右下に伸びる尾根が八方尾根)

東暁館「世外庵」のこと 《身近な産業文化遺産を語り継ぐ》

宮崎 哲雄



あの東暁館は先の東日本大震災で残念なことに大きな被害を受け直前まで茨城支部事務局、パソコン教室

などに活用されていたが、その由緒ある「離れ」を含めて解体せざるを得ない状況となつて、現在はすでに更地になつてゐる。本館部分は戦後の建物だったが、「離れ」は大部分、明治33年（1900年）建設当時の姿を残していた。しかも昭和27年（1952年）までその屋根はワラ葺のまま、日立市が昭和20年（1945年）の三度の爆撃により焦土と化した中でも、奇跡的に被害を免れた。その「離れ」を「世外庵（せがいあん）」と呼んでいた。「世外」は明治の元勲井上馨（1835年〜1915年）の雅号、ただこれを「世外庵」と呼ぶ人は希だったし、その由来も知る人ぞ知る程度だったことは悔やまれる。



明治時代の東暁館（右の離れが世外庵）

その井上馨侯はこの日立の地を三度訪れている。いずれも日立鉾山の視察のためであり、その都度この東暁館（当時は助川ホテル松風館―高萩の兼子七郎氏所有、昭和32年（日）所有）を宿としてゐる。それも明治41年（1908年）から明治44年（1911年）の4年間にかけて集中しており、いずれも当時日立鉾山主であった久原さんの招きに応じてのことだった。二人共現在の山口県（長州）出身、久原さんは一族共々公私にわたつて井上侯と密接な関係にあり、秋田の小坂銅山苦難時代を含め日立鉾山を買収するに当たつてもその資金面をはじめ何かと支援を受けてゐる。そして当時の政財界に大きな影



明治44年井上馨侯一行のご視察
～小平浪平翁撮影～

響力を持つていた井上侯もまた「鉾山十箇所官営の建議」（明治6年）なるものを政府へ提出しているほどだから、その鉾山熱は生涯を通じて衰えていなかつた。久原さんは井上侯を信じ、井上侯は久原さんに大きな期待を寄せていた。

当時の日本はまさに資本主義経済の黎明期、各財閥も発展過程にあつて久原さんの日立鉾山も活況を呈し増産に継ぐ増産の時期、足尾、小坂、別子と共にすでに四大鉾山の一つに加わつてゐた。日立鉾山の産鉾量は井上侯来山の時期、明治41年1872トン、明治44年7834トンとおよそ4倍に達している。

明治41年久原さんは39才、新進気鋭の実業家、他より一歩先んずるその事業意欲は極めて旺盛だったが資金はいくらあつても足りない状況下で頼れるのは井上侯しかいない。そこで融資に当たつて、侯の日立鉾山視察となつた。井上侯72才、初回から一行には常に鴻池銀行の原口二郎理事長が随行している。鉾山史の切り口から見ればこの時のいわゆる「井上断層」を重視すべきものと思われるが、とり

わけ三度目の来山、明治44年11月21日、やはり東暁館宿泊時の「洗面台」の逸話がきわ立つて今に残されている。直前に久原さんの下検分あり―杉柁材をとくさで磨きあげた白木作りの新たな洗面台を、粗末なものでけつこうだ、ザラ（壁の下地などに使う粗末な木材）でいいから―と、一夜のうちに作り替えを命じたという。

日立鉾山は先にもふれた急成長の時期、特にこの井上侯来山三度目の明治44年11月といえは鉾山の電練工場が10月に操業開始、これから更なる電力の開発、有望鉾山の買山計画、日立製作所の育成など新たな事業計画が相継ぎ、その上当時鉾山業の宿命でもあつた「煙害問題」が立ちはだかつていた。故にこの有力な後援者に洗面台ごとき細かなことでもムダな手をかけていると思わせないため、「豪胆のなかの細心」は久原房之助の周到な配慮をうかがわせる逸話となつた。

「世外庵」、この部屋に井上馨侯一行の写真と説明書きがかかつていたことをご記憶の方も多いかと思う。この第三回来山時、訪れた一行を当時日立鉾山の工作課長だった小平さんが撮影したものの、座椅子にかつぎ手の丸太を渡しただけのこれまた粗末な輿（轎台か）、先頭が井上馨侯、最後尾が久原房之助、中の二人は

杉孫七郎子爵、原田二郎鴻池銀行理事長だと思われる。前年の明治43年11月はまだ小平さん（35才）待望の山手工場がすでに操業しているから井上侯の目にとまらぬ筈もなく、この撮影時の小平さんの心境は察するに余りある。このときのカメラは今でも小平記念館に陳列されて小平さんの多趣味を偲ぶ縁となつてゐる。（蛇足ながらこの写真と説明書きは筆者（日）庶務課時代、当時の綿森工場長からご下命、掲額に及んだもの）それにしても久原さんと小平さんの絆は云うまでもないこととして「世外」井上馨侯と小平浪平個人の具体的な接点は今のところこの写真の一件以外、何も見えてこないのはいささか気になる。

その小平さんも日立鉾山工作課長時代、部下と一緒に大雄院から鉾山電車に乗つて助川（現在のシビックセンター）周辺に鉾山電車の助川駅あり）までやつて来て料亭で会食―などの記録もあることから、やはり東暁館だったと思われる。小平さんを中心に高尾さんや馬場さんなど日立製作所の創業にかかわつた若き獅子たちが集まつて和気あいあい、酒をくみ交わしたのもこの東暁館かと思えば不思議な気がするし、時代を超えたぬくもりを感じる。

参考文献：「東暁館」聞き覚え（昭和53年 高橋市蔵、他）
資料提供：眞邊正行氏（友人）、他
編集注：「井上断層」については古川馨著「夢はるかなる」近代日本の巨人・久原房之助参照
宮崎 哲雄氏 連絡先
〒316-0015 日立市金沢町5-6-1
Tel: 0294-37-5509

同好会行事に参加して



「第 68 回研修会」 伊藤 喬章

毎回参加を楽しみにしている研修会である。今回は日本科学未来館と東京臨海広域防災拠点の見学研修会であった。

日本科学未来館、一度は行きたいと思っていた日本の科学未来を見られる所と期待したが広すぎる、時間が無い、もう一度来なくては…と心残りができました。見学時間ぎりぎりです。手に入れた唯一のお土産は「歩き方の個性計測」への挑戦計測結果です。約 20m 程の通路を歩いてデータを取る簡単なものでした。歩行速度、周期、歩幅、足の運び、腕の振りの左右対称性などが計測されています。大阪大学の産業科学技術研究所による研究成果の展示です。「歩行年齢 44 歳」でした。周りから「間違いだ」「データが古いんだ」などと会員の皆様からのご意見をいただき、研修会ならではのことと思います。多謝！

研修会の世話人の皆様のご尽力には心から御礼申し上げます。これからも知的好奇心を満足させる楽しい研修会の企画をよろしく願いいたします。



「写真五七五」 湯浅 和博

坂本龍馬の生き様を示す言葉で「竜馬がゆく」に『男なら、溝(ドブ)の中でも前のめりで死ぬ』とありました。行動しなければ何も生まれないとの言葉に共感し、強くひかれ、モットーにしました。工高を出て働いていた時、それを実行しました。まず大学にチャレンジしようと。2年かかりましたが、運よく合格し

ました。就職してからも失敗を重ねながら様々なチャレンジをやってきました。

写真五七五も俳句初心者でしたが、写真を見て作るの何とかなるだろうと安易に考え、誘っていただいたこともあり喜んで参加しました。最初は五七五になっていれば満足でした。かれこれもう 2 年も過ぎ、一向に上達はしませんが、外出した時は周囲の景色の変化に敏感になったり、浮かんだ俳句に合う景色を探したりしています。句会も多士済々の人々の集まりで、俳句以外にも色々心に響く教えが多くあり、毎回の参加を楽しみにしています。



「旅行会」 下坂 卓夫

旅行会は日立電鉄(株)との共催で、最適なシーズンを狙って不定期に開催されています。第 1 回は 2014 年 4 月の「花見山公園と吾妻スカイラインの雪回廊」に始まり、8 月 8 日には第 17 回の「ハンターマウンテンゆりパークと龍王峡散策」が開催されました。私はこれまで 14 回程参加しています。全てが素晴らしい旅でしたが第 10 回の「お台場・隅田川納涼屋形船」、美味しい料理で酒を酌み交わし、社友と親交を深めながら見た美しい夜景、第 16 回の人馬一体で迫力満点の「相馬野馬追本祭り」は特に感動しました。

私は旅行会の世話人を担当させていただき、多くの社友の方々と知り合うことができ感謝しております。旅行会は魅力ある企画を立案し、またバスの乗降は峰公園から 6 号国道筋のバス停、東海駅、勝田駅まで、最寄りのバス停を選べるように便宜を図って、多数のご参加をお待ちしております。

支部からの お知らせ

日立社友クラブ理事会・茨城支部役員会報告

* 第 65 期-第 4 回 日立社友クラブ理事会報告

- 開催日：平成 28 年 9 月 1 日(木)
- 議事
 - 新入会員の件：96 名が入会され、9 月 1 日時点の会員数は 6,596 名となった。
 - 第 66 回日立社友クラブ総会の件：10 月 7 日(金) ホテルニューオータニで実施。
長寿祝 白寿：4 名 米寿：62 名
喜寿：403 名

* 平成 28 年 9 月 茨城支部役員会報告

- 開催日：平成 28 年 9 月 8 日(木)
- 議事
 - 新入会員の審議：新入会員 12 名の審議が行われ、入会が承認された。9 月 8 日現在で茨城支部会員数は 1,062 名となった。(昨年同期比 10 名減)
 - 土浦地区担当役員：土浦地区担当役員は、綿森溥氏のご逝去に伴い空席になっていたが、水戸地区担当役員の齋藤満男氏に兼務して頂くことになった。

- 日立事業所の茨城支部担当事務局員変更の件：茨城支部担当事務局員が、寺田主任と根本課員の 2 名体制になった。

年会費納入お忘れの方へお願い

会費(同好会費含む)の納入をお忘れの方には、個別にその内容を別紙にてご通知していますので、ご確認の上、納入下さるようお願いいたします。

茨ネット加入のお願い

茨城支部は会員向けのメーリングリスト「茨ネット」で、会員の動向、同好会の開催案内などを発信しています。茨ネット会員へのメールによる支部総会の出欠確認により経費節減も図っています。メールアドレスをお持ちの方で未加入の方は是非加入をお願いします。無料です。加入申込みは中村浩三(kozo@nakamura.email.ne.jp)までお願いします。

訃報 真に残念ですが、苦楽を共にした次の方がお亡くなりになりました。衷心よりご冥福をお祈りいたします。

大津圭三郎	平成 28 年 5 月 27 日	享年 93 歳
西野 健二	平成 28 年 6 月 19 日	享年 80 歳
白木 朗	平成 28 年 7 月 22 日	享年 84 歳
飯塚 富雄	平成 28 年 7 月 27 日	享年 89 歳
飯川 成男	平成 28 年 9 月 7 日	享年 76 歳
阿部 重忠	平成 28 年 9 月 22 日	享年 76 歳

同好会の行事ご案内 (11月～1月)

1. 第70回研修会

〔株〕ミットヨ宇都宮事業所見学と宇都宮・鹿沼散策

マイクロメーター等計測器を製造している(株)ミットヨ宇都宮事業所見学と宇都宮「宇都宮城址公園、松が峰教会他」、鹿沼「屋台のまち中央公園(彫刻屋台展示館、掬翠園)他」を散策します。皆様の参加をお待ちしています。

- ・開催日：平成28年11月25日(金)
- ・集合：大甕駅前(常陽銀行大甕支店前) 8:00
日立電鉄交通サービス南営業所 8:15
- ・帰着：大甕駅前 17:30頃の予定
- ・会費：6,000円予定(バス、昼食代、他)
- ・募集人員：先着40名
- ・申込締切：10月30日(日)
- ・申込先：石田 和夫
Tel/Fax：0294-34-0209
E-mail：ishida.kazuo@nifty.com

2. 第67回歩こう会【秋の北茨城市を歩く】

日本文化の近代化に大きな役割を果たした岡倉天心が愛した景勝地である五浦海岸を大津港駅前出発で巡ります。五浦岬公園から見る六角堂はまさに絶景です。皆さんと共に秋のウォーキングを楽しみましょう。

- ・開催日：平成28年11月17日(木)雨天12月1日(木)
- ・集合：大津港駅前9:30
- ・コース：大津港駅前出発 9:40→大津港→五浦岬公園天心ロケセット(昼食)→六角堂入口→天心の墓→天心記念五浦美術館入口→風船爆弾放流地跡→大津港駅前着 13:40頃 ほぼ平坦地 8.4km
- ・持参品：弁当、飲物、雨具等
- ・会費：200円(非会員500円)
- ・申込締切：11月10日(木)
- ・申込先：石橋 康正
Tel/Fax：0294-37-0439/050-1485-5973
E-mail：yasumasa_ishibashi@ybb.ne.jp

3. 定例行事予定一覧(開催日・場所・時間などは各グループより、別途茨ネット等により連絡いたします)

グループ名	連絡先	実施日(曜日)			場所	時間	備考
		11月	12月	1月			
野鳥・自然観察グループ	城戸勝弘 0294-39-2119 kkido@kxd.biglobe.ne.jp	28(月)			小山ダム	9:00～	参加費:¥300/回 原則雨天中止
			19(月)		久慈川河口	9:00～	
				16(月)	千波湖	9:00～	
囲碁の会	日立地区 助川一弥 0294-24-3768 kazy.sukegawa@net1.jway.ne.jp	9(水)	14(水) 大会	11(水)	大みか拠点	10:00～ (大会 9:30～)	参加費:¥100/回 大会:¥500
	勝田地区 七海 清 029-273-8450 fwny8718@mb.infoweb.ne.jp	23(水)	28(水)	25(水)			
料理教室	澁口七郎 0294-43-5134 s-shibuguchi@net1.jway.ne.jp	14(月)	12(月)	16(月)	明治商会	10:00～	参加費:¥1700/回
		28(月)	—	23(月)			
卓球クラブ	綿引邦彦 0294-37-1491 perroygato4923@net1.jway.ne.jp	2, 9 16(水)	7, 14 21(水)	11, 18 25(水)	会瀬体育館	9:00～ 12:00	参加費、会場費等 まとめ:¥4500/年
デジカメクラブ	若島喜和 0294-24-2425 wakasima@net1.jway.ne.jp	7(月)	5(月)	12(木)	大みか拠点	10:00～ 15:00	参加費:¥1000/回 昼食代含む
写真五七五	武田孝一 0294-36-1469 takedaks@future.ocn.ne.jp	4(金)	2(金)	6(金)	大久保 交流センター	9:00～ 12:00	参加費:¥300/回 昼食別途
パソコングループ	HPの会 中村 進 0294-52-5525 ssm2332@knh.biglobe.ne.jp	1(火)	6(火)	10(火)	大みか拠点 (1月は未定)	10:00～ 15:00	参加費:¥300/回 昼食別途
	基礎講座 安田 出 0294-37-1959 yasuda@i.email.ne.jp	8(火)	13(火)	10(火)	大みか拠点	10:00～ 15:00	参加費:¥1000/回 昼食代含む
	勝田地区 渡部喜久雄 029-282-7633 kikuo_wa@d1.dion.ne.jp	22(火)	27(火)	24(火)	ひたちなか市 ワークプラザ	13:15～ 16:00	参加費:¥700/回
	Lightroom講座 安田 出 0294-37-1959 yasuda@i.email.ne.jp	18(金)	16(金)	20(金)	大みか拠点	10:00～ 15:00	参加費:¥1000/回 昼食代含む
HTML講座II		24(木)	22(木)	26(木)	大みか拠点	10:00～ 15:00	参加費:¥1000/回 昼食代含む

注) 旅行会(連絡先; 安田 出)は、開催が不定期なので、茨ネットを通じて開催をご案内しています。

第12回 デジカメ写真展のご案内

デジカメクラブ、写真五七五グループ、野鳥・自然観察グループ合同で写真展を開催します。会員が撮影した傑作や楽しい写真がいっぱいです。ご家族、ご友人お誘いあわせの上、ご来場をお待ちしております。

- ・日時：11月17日(木)～21日(月) 9:00～17:00
(初日は12:00から、最終日は15:00まで)
- ・場所：多賀市民プラザ 1階ギャラリー

編集後記 会員投稿では、東暁館をいろいろな視点からと宮崎哲雄さんをお願いし、明治の元勲井上馨侯と関わりのある「離れ」の「世外庵」を執筆願いました。年配の日立人には「離れ」の宴会場が感慨深いですね。遠藤宏さんの随筆、魅力一杯の春山登山では、登頂をも断念する勇気を持つことの大切さが学べます。過日は日立製作所野球部が準優勝、東京ドームで楽しい応援に酔いしれました。
長島 重和